

宮城県感染症発生動向調査情報(第19週)

宮城県【平成26年05月15日】発行
宮城県保健環境センター
TEL (022)257-7228

— 2014.5.5 ~ 5.11 ・ 第19週 —

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所								仙台市		宮 城 県 (含む仙台市)			
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	患者数	累計	第16週	第17週	第18週	第19週
水痘	9 1.80	7 0.70	3 0.60	1 0.50	4 1.33	5 1.00		11 0.42	40 0.69	880	○→	レ→	○→	○
流行性耳下腺炎		3 0.30		1 0.50	2 0.67		1 0.50	8 0.31	15 0.26	217	→	→	→	
百日咳											→	→	→	
感染性胃腸炎	56 11.20	56 5.60	16 3.20	13 6.50	14 4.67	18 3.60	22 11.00	227 8.73	422 7.28	9,381	◎→	◎→	◎→	◎
手足口病								1 0.04	1 0.02	23	→	→	→	
伝染性紅斑	4 0.80	5 0.50	3 0.60	2 1.00		2 0.40		15 0.58	31 0.53	674	○→	○→	レ→	○
突発性発しん	5 1.00	6 0.60	6 1.20		1 0.33		6 3.00	13 0.50	37 0.64	630	○→	○→	レ→	○
ヘルパンギーナ											→	→	→	
インフルエンザ	26 3.25	16 1.07	13 1.63	5 1.67	15 3.00	9 1.13	31 7.75	40 0.95	155 1.67	28,690	◎→	◎→	◎→	◎
咽頭結膜熱	3 0.60	2 0.20					1 0.20	10 0.38	16 0.28	177	→	→	→	
流行性角結膜炎								4 0.67	4 0.33	40	→	→	→	
急性出血性結膜炎											→	→	→	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	10 2.00	14 1.40	8 1.60	4 2.00	2 0.67	8 1.60	3 1.50	39 1.50	88 1.52	2,535	◎→	◎→	◎→	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)								1 0.20	1 0.08	9	→	→	→	
無菌性髄膜炎											→	→	→	
マイコプラズマ肺炎			1 1.00				7 7.00	2 0.40	10 0.83	159	→	→	→	
クラミア肺炎(オウム病は除く)											→	→	→	
RSウイルス感染症			1 0.20				7 0.27	8 0.14	283		→	→	→	
拡張疾病			4	1	2	2	1	◎：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○：発生または流行について、今後の情報に留意 レ：発生が少なくなっている傾向						
不明発疹症							4	【週報の詳細】宮城県保健環境センターのホームページをご覧ください。 http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/						
感染性胃腸炎(ロタウイルス)※				1			2	3	45					

※ 法改正により、平成25年10月14日より、ロタウイルスが原因の感染性胃腸炎について、基幹定点より報告を求めることになりました。

今週の全数報告疾病

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: 結核
 - 仙南管内 男性1名
 - 石巻管内 女性1名(第18週)
 - 気仙沼管内 男性1名(第17週)
 - 仙台管内 男性1名
- 3類感染症: 報告なし
- 4類感染症: レジオネラ症
 - 仙台管内 男性1名
- 5類感染症: 侵襲性肺炎球菌感染症
 - 塩釜管内 男性1名、女性1名(第18週)
 - 石巻管内 男性1名
 - 仙台管内 女性1名

今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 1例

今週の感染症のコメント
— 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 —
【インフルエンザ】
県内の患者数は減少し、今週すべての管内で警報継続基準値の10人を下回りました。

【病原体検出情報】
～仙台医療センターウイルスセンター～

	第17週採取分 (4.20～4.27)	第18週採取分 (4.28～5.4)	第19週採取分 (5.5～5.11)
インフルエンザウイルスAH1pdm	1件	1件	0件
インフルエンザウイルスB	1件	1件	0件
インフルエンザウイルスC	0件	2件	0件
RSウイルス	0件	0件	1件
アデノウイルス	0件	1件	1件
単純ヘルペスウイルス	1件	0件	0件

インフルエンザ関連情報 (患者報告年齢群別割合)

報告週	0～4歳 (%)	5～9歳 (%)	10～14歳 (%)	15～19歳 (%)	20～29歳 (%)	30～39歳 (%)	40～49歳 (%)	50～59歳 (%)	60～69歳 (%)	70～79歳 (%)	80歳～ (%)	総数 (人)
2014年 第15週	31.2	23.4	10.0	3.5	3.7	8.7	6.3	7.4	4.1	1.5	0.2	461
第16週	20.4	40.3	15.3	3.2	3.1	4.9	4.3	3.7	2.9	0.6	1.2	648
第17週	17.9	38.6	18.7	4.5	2.4	5.1	4.3	4.7	1.6	0.5	1.7	749
第18週	20.1	36.7	17.2	6.3	2.6	3.9	3.9	3.4	2.6	0.8	0.8	384
第19週	21.3	20.6	25.2	5.2	4.5	7.1	5.8	3.2	3.9	1.9	1.3	155

定点把握の対象となる5類感染症(全国 第17週) (国立感染症研究所感染症疫学センターホームページより抜粋)
インフルエンザ: 定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は山梨県(11.43)、岩手県(11.09)、山形県(10.92)である。RSウイルス感染症: 報告数は503例と減少した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約82%を占めている。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎: 定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は山形県(4.63)、新潟県(4.48)、富山県(4.17)である。感染性胃腸炎: 定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は宮崎県(18.22)、大分県(16.28)、岡山県(14.31)である。水痘: 定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別の上位3位は沖縄県(2.03)、福井県(1.95)、鹿児島県(1.95)、大分県(1.75)である。マイコプラズマ肺炎: 定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は富山県(1.80)、青森県(1.00)、宮城県(0.92)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る): 定点当たり報告数は2週連続で増加した。年齢別では0歳(37例)、1～4歳(196例)、5～9歳(21例)、10代(4例)、20代(1例)、60代(1例)、70歳以上(1例)であった。

* 全国の指定された医療機関(小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)の集計結果です。()内数字: 定点当たり報告数

【侵襲性肺炎球菌感染症】
平成25年4月1日から5類感染症全数把握対象疾患となり、呼吸器病病原性菌である肺炎球菌が、髄液または血液から検出された場合に届出対象となった。乳幼児及び高齢者での発症が多いとされ、宮城県における平成25年の届出患者数は22名(仙台市を含む)で、そのうち72%が65歳以上の患者となっている。予防にはワクチンが有効とされている。